医療費窓口負担2倍化 STOP! 止める

75歳医療費窓口負担2倍化ストップ!!活動推進ニュース

とめーる

2022年2月11日発行 No5

発行団体
●全日本年金者組合中央本部
●中央社会保障推進協議会
●全国保険医団体連合会事務局
●日本高齢期運動連絡会
東京都中野区中央5-48-5　シャンボール中野504
☎ 03-3384-6654

老人医療有料化から39年　75歳医療費2倍化中止!

2・1高齢者中央集会　集会アピール採択　中止の声を全国にひろげよう!

会場26人　オンライン71ケ所参加　挨拶する倉林参議院議員

アピール提案する婦民クラブ石黒さん

講演する浜岡名誉教授

２月２日衆議院第二議員会館で高齢者中央集会を開催しました。この集会は１９８３年２月１日に老人医療有料化が実施された日を記憶に刻み、毎年この時期に集会・学習会を開催してきました。今年は「オミクロン株」感染拡大の中、議員会館会場と全国各地の会場をオンラインでつなぎ開催されました。

学習講演「全世代型社会保障推進政策の中での高齢者の生活、その改善の課題」浜岡佛教大学名誉教授

浜岡先生は、全世代型社会保障制度は、社会保障の中に労働を入れていることの意図をしっかり抑えることが必要があると指摘。高齢者等のこれまで「支えられる側」として扱われてきた人びとを就業困難によって「支える側」に誘導する施策が強められている。後期高齢者の健康と生活をもっとも困難な世代と見て、この層での給付減・負担増が成功すれば、次は前期高齢者、現役世代へ波及すると指摘。全世代型社会保障という考え方は、社会保障論として妥当なのかと問題提起され、「全世代」という言葉は、大企業や富裕層など真の負担能力をもったものを隠すための煙幕と指摘。４０年間の社会保障の軌跡が示すものとして。介護保険制度の行き詰まり、社会保障の縮小と再互助化か、社会保障運動の再構築化が必要であると言われ、消費者モデルから主権者モデルへの運動の再構築が必要であると指摘されました。このような政策の実施で高齢者の生活はきびしくなっており、とても健康で文化的な生活が維持できているとは言えない状況にあると述べた。

1/26 大阪高齢期運動連絡
大阪府後期高齢者広域連合へ申し入れ

５項目の要請を行いました。①２倍化法は中止　②後期高齢者医療保険の保険料を基金を取り崩して値上げしないで。　③保険料決定通知書の内容の改善。④2020年度の健康診査の受診率及び今期と来期の受診目標を示してください。張力検査を実施してください。以上要請しました。